

インクジェットの技術開発 山形大、研究拠点を設立

日本経済新聞 地域経済

2018年3月8日 2:19 [有料会員限定]

山形大学は7日、インクジェットの新たな産業を切り開くため、産学連携によるオープンイノベーションの研究開発拠点を設立したと発表した。欧米ではベンチャー企業がインクジェットを利用した応用技術を次々と製品化しているのに対し、日本では社内技術として企業ごとに分かれているため、立ち遅れてしまっているのを巻き返す狙い。インクジェット関連の約20社が参加する。

設立したのは「山形大学インクジェット開発センター」。インクジェットで国内初のオープンイノベーション拠点となる。

山形県米沢市に今月完成予定の「山形大学有機材料システム事業創出センター」内に100平方メートルの実験室と20平方メートルのオフィスを設ける。

センター長には、セイコーエプソンなどでインクジェット開発に携わってきた酒井真理教授が就任した。

酒井教授によると、インクジェットは家庭やオフィス用プリンターとして普及したものの、国内では企業内技術にとどまっている。一方、欧米ではデジタルデータを使ったモノづくり「デジタルファブリケーション」技術として注目され、大学などを中心にオープンイノベーションが進んでいる。

インクジェットの技術開発

山形大、研究拠点を設立

山形大学は7日、インクジェットの新たな産業を切り開くため、産学連携によるオープンイノベーションの研究開発拠点を設立したと発表した。欧米ではベンチャー企業がインクジェットを利用した応用技術を次々と製品化しているのに対し、日本では社内技術として企業ごとに分かれているため、立ち遅れてしまっているのを巻き返す狙い。インクジェット関連の約20社が参加する。

設立したのは「山形大学インクジェット開発センター」。インクジェットで国内初のオープンイノベーション拠点となる。

山形県米沢市に今月完成予定の「山形大学有機材料システム事業創出センター」内に100平方メートルの実験室と20平方メートルのオフィスを設ける。

センター長には、セイコーエプソンなどでインクジェット開発に携わってきた酒井真理教授が就任した。

酒井教授によると、インクジェットは家庭やオフィス用プリンターとして普及したものの、国内では企業内技術にとどまっている。一方、欧米ではデジタルデータを使ったモノづくり「デジタルファブリケーション」技術として注目され、大学などを中心にオープンイノベーションが進んでいる。

関連キーワード: インクジェット 山形大学 山形大学インクジェット開発センター 酒井真理 セイコーエプソン

